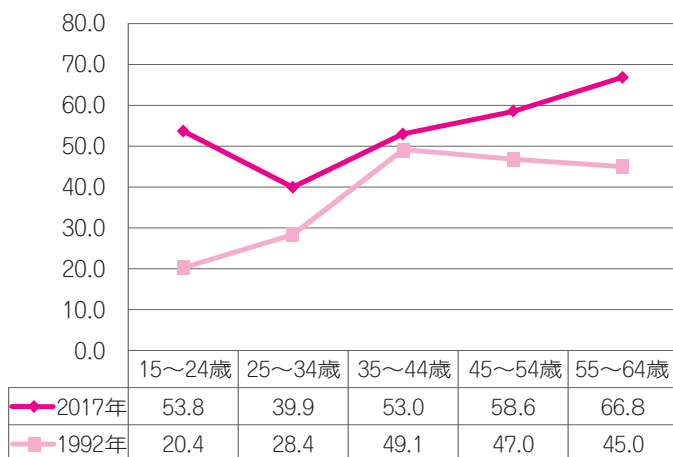


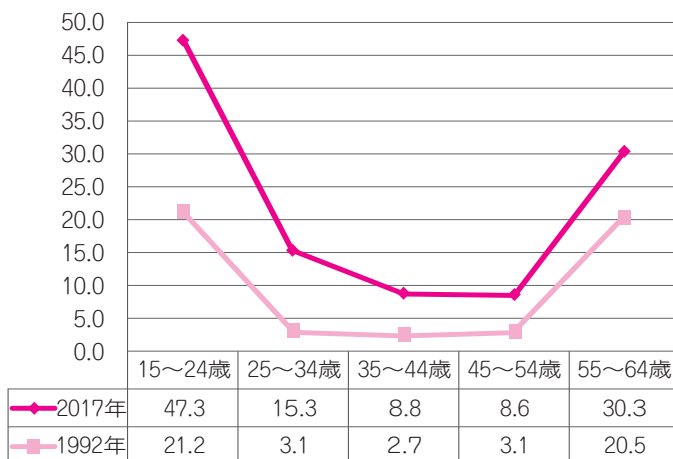
第1図 女性労働者：年齢階級別 非正規労働者比率（％）



〔備考〕 総務省『労働力調査特別調査』、『労働力調査詳細集計』にもとづき作成。

1992年2月と2017年1～3月の比較。本年鑑39頁参照。

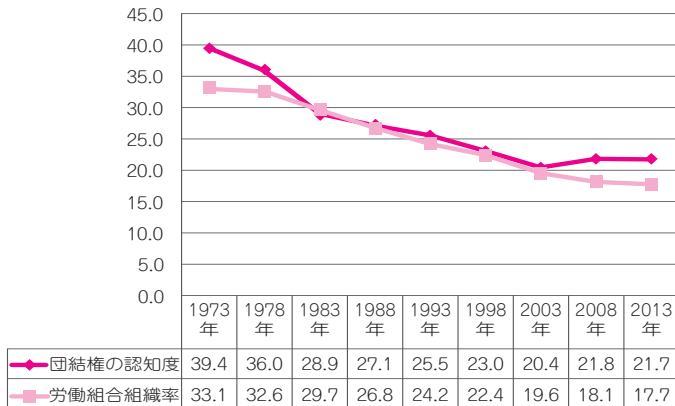
第2図 男性労働者：年齢階級別 非正規労働者比率（％）



〔備考〕 総務省『労働力調査特別調査』、『労働力調査詳細集計』にもとづき作成。

1992年2月と2017年1～3月の比較。本年鑑39頁参照。

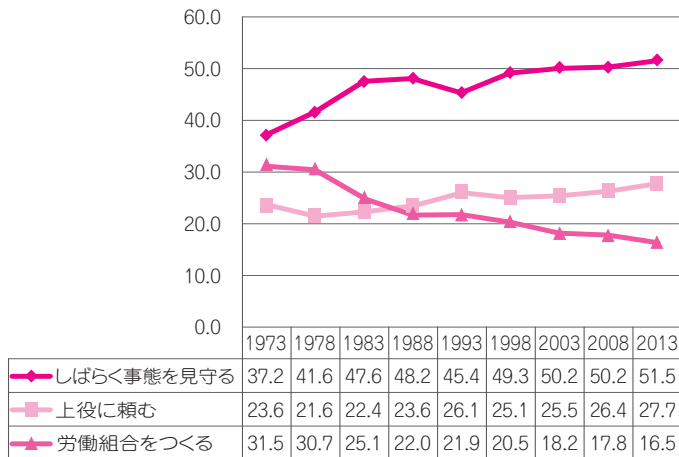
第3図 労働組合の団結権の認知度と組合組織率



〔備考〕 NHK放送文化研究所『第9回「日本人の意識」調査（2013）結果概要』、厚生労働省「労働組合基礎調査」より作成。

「労働組合をつくる」志向性の低下は、労働組合組織率の低下と符合している。本年鑑41頁参照。

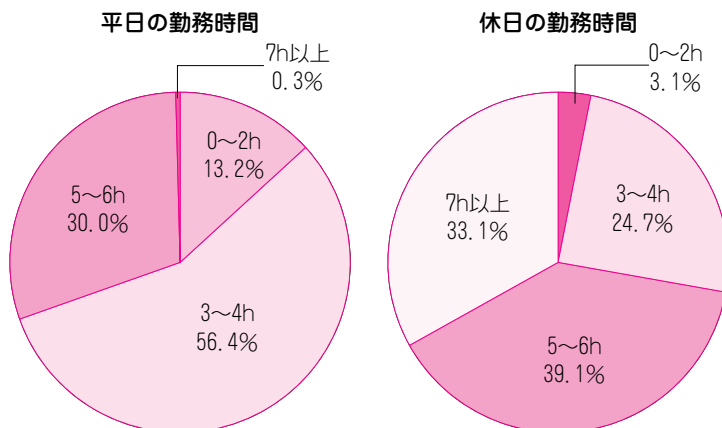
第4図 職場の問題を解決する意識の低下



〔備考〕 NHK放送文化研究所『第9回「日本人の意識」調査（2013）結果概要』より作成。

1980年代以降、回答者の半数は積極的に問題解決に取り組まず、静観する方向性を示す。本年鑑41頁参照。

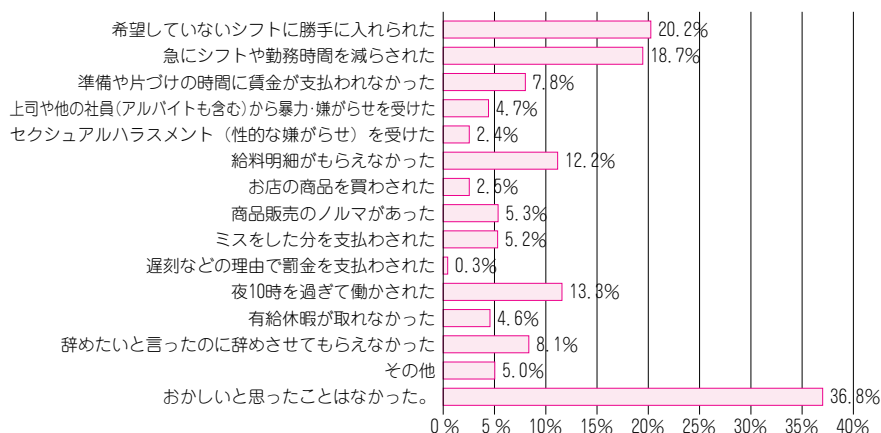
第5図 高校生アルバイトの労働時間 (平日、休日)



〔備考〕 神奈川県高等学校教職員組合『高校生アルバイト実態調査』（2015年）。

学校がある日は、56%が3～4時間、30%が5～6時間働いている。休日は、39%が5～6時間、33%が7時間以上働いている。本年鑑50頁参照。

第6図 実際に働いてみて経験したこと (複数回答)



〔備考〕 神奈川県高等学校教職員組合『高校生アルバイト実態調査』（2015年）。

パーセンテージは、「アルバイト経験あり」679人に占める割合。「おかしいと思ったことがない」と回答した生徒は36.8%いたが、残りの63.2%は何らかの「おかしさ」を感じている。本年鑑51頁参照。

第7図 労働教育に関する資料①



〔提供〕 一般社団法人 日本ワークルール検定協会。

一般社団法人 日本ワーカールール検定協会が実施する「ワーカールール検定」で使われるテキスト。「ワーカールール検定2017春」のポスターより。本年鑑69頁参照。

第8図 労働教育に関する資料②



〔提供〕 株式会社 解放出版社。

橋口昌治・肥下彰男・伊田広行 著『新版〈働く〉ときの完全装備 15歳から学ぶ労働者の権利』（解放出版社、2016年）。本年鑑71頁参照。